思いを込めて語る

少年の主張みよし市大会

子どもたちが普段の生活の中で感じることや実践していること、社会問題に対する自分の考えなどを多くの人に伝えることで、社会性や自主性を培ってもらおうと6月16日、サンアートで少年の主張みよし市大会が行われました。市内の8小学校と4中学校の代表者12人による、人との関わり合いの中で気付いたことや心掛けていることなど、身ぶり手ぶりを交えた力強い発表に会場を訪れた人は熱心に聞き入っていました。

自然を感じながら

親子で行う生きものも育てるお米作り

NPO法人みよしの自然環境を守る会は、一年を通して「親子で行う生きものも育てるお米作り」と題したイベントを開催しています。6月16日には、5月に黒笹町地内で田植えをした田んぼの草取りと生き物観察、ドジョウの放流が行われました。この日は30家族およそ90人が参加し、田んぼに生息する生き物の採集に挑戦。子どもたちは、採集したオタマジャクシやヤゴ、タニシなどを、興味深そうに観察していました。

災害時でもおいしい食事を

パッククッキング体験

6月15日、パッククッキング体験が保健センターで行われました。パッククッキングとは、ポリ袋に入れた食材をお湯で加熱する調理法で、災害時に電気やガスが使えなくても、お湯を沸かすことができれば食事を作ることができます。参加者たちは、食生活健康推進員と協力して、かに玉や蒸し野菜などの料理を完成させました。参加した女性の一人は「おいしく調理することができました」と笑顔で話していました。

日本の武道を体験

コロンバス市高校生の三好高校体験入学

日本の文化・風習を学ぶとともに、みよし市の高校生と交流を深めることを目的に、友好都市であるアメリカ・インディアナ州・コロンバス市の高校生が、6月18日から25日までの8日間みよし市に滞在しました。20日には三好高校へ体験入学し、日本の伝統武道である剣道と柔道を体験。剣道では面打ちや胴打ち、柔道では技の掛け方や受け身の取り方を部員たちに教えてもらい、初めて体験する武道に表情を引き締めていました。

鋭いボールで相手を狙う

子ども会球技大会

ドッジボールを通じて市内の子ども会同士の交流を深めるとともに、児童の体力向上を図ろうと6月23日、総合体育館で子ども会球技大会が行われました。この日は、市内17の子ども会から男子23チーム、女子13チームの合わせて36チームが参加。内野と外野でパスをつなぎながら相手チームの隙を狙ったり、鋭いボールをキャッチしたりするなど、各コートで攻守が目まぐるしく変わる白熱した試合が繰り広げられました。

自身の運転を見直す機会に

高齢者交通安全実践教室

交通安全に関する意識の高揚と知識の向上を図り、高齢者の交通事故を防止しようと6月24日、三好自動車学校で高齢者交通安全実践教室が行われました。参加者は安全講習、道路横断実験、運転技能指導をそれぞれ受講。参加した男性の一人は「運転中はしっかり周囲を見ているつもりでしたが、今日の講習で自分の視野の狭さに驚きました。今後は、今まで以上に安全運転を心掛けていきます」と話していました。